

中学年おすすめの読み物 (3・4年生)

請求記号	タイトル	著者	出版者	紹介
91.3 ア	ハンカチの上の花畑	安房直子	あかね書房	お酒をつくる小人が住む不思議なびん。大切な約束を守らないと大変なことに…。
91.3 イ	マンホールからこんにちは	いとうひろし	徳間書店	おつかいの帰り道。マンホールから、何か出てくるかもしれない…。
91.3 イ	ながいながいペンギンの話	いぬいとみこ	理論社	ペンギンの兄弟ルルとキキの、ぼうけんのお話。さあ、次のぼうけんは…？
91.3 オ	びりっかすの神さま	岡田淳	偕成社	びりになると会えるかみさま。きみも会ってみたい？
91.3 カ	霧のむこうのふしぎな町	柏葉幸子	講談社	少女がすすごすちよっとふしぎな夏休み。霧のむこうにはファンタジーの世界がひろがっています。
91.3 サ	なん者ひなた丸ねことんの術の巻	斉藤洋	あかね書房	にん者のみならい、なん者ひなた丸。ねことんの術で敵を倒せるか。ドキドキの戦いをみがすな！
91.3 サ	おれはレオ	佐々木マキ	理論社	「よるねこねるよ」「けさたべたさけ」森の動物と女の子の回文対決だ！
91.3 サ	イグアナくんのおじゃまな毎日	佐藤多佳子	偕成社	体長1メートルのイグアナをムリヤリおしつけられて樹里のウチは大パニック！
91.3 ス	もしかしたら名探偵	杉山亮	偕成社	探偵、ミルキー杉山は小さな証拠もみのがさない。君もいっしょに犯人を見つけよう。
91.3 ス	大千世界の生き物たち	スズキコージ	架空社	みんなは見たことある？本だなの間にひそんでいる「スキママン」を…。
91.3 タ	いたずらおばあさん	高樓方子	フレーベル館	エラババ先生は、長い年月をかけて、すばらしい服を発明しました。それは一まいきると一さい若くなるとうめいの服。
91.3 タ1	黒ねこサンゴロウ 1	竹下文子	偕成社	たまたま列車でのり合わせた少年ケンと黒ねこのサンゴロウ。古地図をたよりに宝さがしのぼうけんへ。
91.3 テ	ぼくは王さま(新・理論社名作の愛蔵版6)	寺村 輝夫	理論社	たまごやきが大好きな王さま、大きなたまごやきを作るためにぞうのたまごを？
91.3 ト	小さな山神スズナ姫	富安陽子	偕成社	山の神様になりたい山神の娘スズナ姫は300歳の誕生日に山をねだります。ところが…。
91.3 ナ	ぼくにはしっぽがあったらいい	なかがわちひろ	理論社	ぼくの体には大むかしの生きもののなごりがいっぱいあるらしい…。
91.3 ナ	ごん狐(新美南吉童話傑作選)	新美南吉	小峰書店	もしも、きつねがきみの家の近くでくらしていたら、友だちになれるかな？
91.3 ニ	あるひあひるがあるいていると	二宮由紀子	理論社	「あ」「い」「う」「え」「お」がつくことばで書かれた5つのおはなし。
91.3 ノ	みんなの家出	藤田のぼる	福音館書店	子どもには家出をする権利がある。子どもはだれでも家出を夢見る。子どもにはだれでも家出を実行する力がある。
91.3 ヘ	なぞかけときじろう	もとしたいづみ	岩崎書店	江戸時代に流行した「なぞかけ大会」。町の大事件にもなぞなぞの挑戦状が…さあ、君にもとけるかな？

91.3 ヲ	はれときどきぶた	矢玉四郎	岩崎書店	ぼくの日記をかってに読むなんて、お母さんはひどい！ぼくはしかえしに「あしたの日記」を書くことにした。
91.3 ヲ	『えへんおほん』の大ぼうけん	山下明生	文溪堂	何かといばる図書館の絵本、「えへんおほん」。初めて外に出たと思ったら、それは旅の始まりだった。
94 ア	アンデルセンどうわ	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	のら書店	「おやゆびひめ」や「はだかの王さま」。世界中で愛されているアンデルセンの名作を読んでみよう。
93 I	百まいのドレス	エレナー・エステイス	岩波書店	いつもおなじ服をきているワンダ。「家には百まいのドレスがある。」といっても、クラスの人にはだれもしんじません。
93 I 1	きかんぼのちいちゃいもうと その1	ドロシー・エドワーズ	福音館書店	わがままでいたずらばかり。私の妹はぜんぜん言うこと聞かないの。
93 I	火曜日のごちそうはヒキガエル	ラッセル・E.エリクソン	評論社	ミズクにつかまったひきがえるのウォートン。火曜日のたんじょうびのごちそうに食べてやる、といわれちゃった！
93 ク	がんばれヘンリーくん	ベバリイ・クリアリー	学研	ぼくはヘンリー、小学3年生。ぼくの犬アバラーは、少しもいうことをきいてくれない。
93 ク	ビーザスといたずらラモーナ	ベバリイ・クリアリー	学研	全く困ったもんだ！やんちゃな妹にいつも振り回される！
90.8 サ	サヤエンドウじいさん－世界の民話－	矢崎源九郎ほか	日本標準	昔話に出てくるおじいさんってさ、たいてい「いい人で正直者」だと思ったんだけどなあ…。
93 ジ	おすのつぼにすんでいたおばあさん	ルーマー・ゴッデン	徳間書店	びんぼうだけど、ねこのモルトと幸せにくらしていたおばあさん。でも、魚を助けたおれいももらって？
E シ	おとうさんのちず	ユリ・シュルヴィッツ	あすなる書房	とてもひもじかったのに、お父さんが買ってきたのは食べられない地図だった。でもね…。
93 ス	ポリーとはらぺこオオカミ	キャサリン・ストー	岩波書店	オオカミらしくガブリッとやりたいのに、うまくいかないんだよなあ…。
E ホ	ウェズレーの国	ポール・フライシュマン	あすなる書房	自分だけの作物を育てて、自分だけの文字をつくったらこんなことになりました。
93 フ	マクブルームさんのすてきな畑	S.フライシュマン	あかね書房	1日に3度くらい収穫できる1エーカーの畑ってどんな畑？奇想天外なおはなしがたまらない…
94 フ	小さなスプーンおばさん	アルフ・プリョイセン	学研	ときどき、きゅうにスプーンくらいに小さくなっちゃうスプーンおばさん。でも、おばさんはへっちゃら！
E シ	マグナス・マクシマス、なんでもはかります	キャスリーン・T.ペリー	光村教育図書	ものをはかるのが大すきなおじいさん。ライオンをはかったり、クラゲをはかったり。しかしメガネがこわれてしまい…。
E マ	つなのうえのミレット	エミリー・アーノルド・マッカーリー	文溪堂	旅芸人ベリー二に、つなわたりを教わったミレット。でも、ベリー二は何かをかくしているよう。
93 マ	ゆかいなホーマーくん	ロバート・マックロスキー	岩波書店	スカンクがペットになったらどうなると思う？ホーマーくんはやってみました！
93 マ	魔女学校の一年生	ジル・マーフィ	評論社	ミルドレッドは魔女学校の1年生。何をやってもドジばかりで学校一のおちこぼれですが…。
98 ラ	きつねものがたり	ヨゼフ・ラダ	福音館書店	家出をしたきつねがめざしたのは、ずるがしこいきつねになること。さあ、うまくいくのかな…。
E リ	おおきくなりすぎたくま	リンド・ワード	ほるぷ出版	ジョニーくんがみつけたこぐまはどんどん、どんどん大きくなってなんでもたべる、たべる…。